# タイトル:

学校現場から見る「GIGA スクール」の今

	■
	学校情報セキュリティお役立ち Web「今日もワンステップ!」
	発行元:ISEN メルマガ編集局 https://school-security.jp/
<目次	>
[1]	関連省庁・団体ニュース ~どうなる? 今後の学校 ICT~
[2]	情報セキュリティ事故ニュース ~ささいなミスが事故を招く~
[3]	学校 ICT・セキュリティコラム ~研究を重ねた専門家が指南~
	マガ印刷はこちら。朝礼での配布などセキュリティ啓発にご活用ください。 ps://school-security.jp/ml/266.pdf
, , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	pen, / eeneer eeeunej,jp,, _eee.pu
□ [1]	関連省庁・団体ニュース ~どうなる? 今後の学校 ICT~
<b>♦♦</b>	トピックス(1)
文部科	学省「令和 4 年度概算要求のポイント」を発表
•••••	······◆◇

文部科学省は8月、「令和4年度概算要求のポイント」を発表しました。

文教関係予算の要求額は 4 兆 3,859 億円で、 「GIGA スクール運営支援センター整備事業」に 新規予算が要求されています。

要求額は64億円で、実施主体は都道府県と市区町村、補助割合は1/2の予定です。

文部科学省は、一人 1 台端末環境での本格的な教育活動が 展開される中、運用面の更なる強化が求められていることを踏まえ、 「人」中心の支援を、「組織」中心による広域的な支援体制へと 発展・充実させることを目指しています。

さらに「学習者用デジタル教科書普及促進事業」として、 児童・生徒の学びの充実や障害などによる学習上の困難の 低減につながるよう、学校現場におけるデジタル教科書の 導入を促進します。

全ての小中学校などに1教科分のデジタル教科書を 提供し、特別な配慮が必要な児童・生徒については、 全員が利用できるようにするというものです。

また、デジタル教科書の導入や活用にあたって必要な、 学校の通信環境の検証や、機能・配信環境などの 開発・実装を行うとしています。

最先端の技術を活用し、目指すべき次世代の 学校・教育現場などを見据えながら、教育の質の 向上を図る予定です。

#### ▼01 令和 4 年度概算要求のポイント

https://www.mext.go.jp/content/20210827-mxt\_kouhou02-000010167\_1.pdf

#### ▼07-1 令和 4 年度概算要求主要事項

https://www.mext.go.jp/content/20210827-mxt\_kouhou02-000010167\_6.pdf

$\Diamond \blacklozenge$	トピッ	クス	(2)	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • •		• • • • • • • •	• • • • • • •	•••••	• • • • • • •	• • • • • •	• • • • • •	• • • • • •	• • • • • •
文部和	斗学省	「学校	:教育:	法施行	規則の	)一部	を改正	Eする <sup>4</sup>	省令の	施行	につし	ハて」	を公	開
			. <b></b> .											$\Diamond \Diamond$

文部科学省は8月23日、「学校教育法施行規則の一部を 改正する省令の施行について」を公開しました。

今回の改正では、GIGA スクール構想の着実な実施など、 さまざまな課題に対応する学校の指導・運営体制の 強化・充実を図る支援スタッフとして、情報通信技術支援員などの 新たな名称と職務内容が規定されました。

情報通信技術支援員とは、ICT 支援員の新たな名称です。 職務内容は、教職員の日常的な ICT 活用の支援に従事する 職員として、ICT を活用した授業支援、校務支援、環境整備支援、 校内研修支援などが挙げられました。

また、国については「教育の ICT 化に向けた環境整備 5 か年計画」の中で、ICT 支援員を 4 校に 1 人配置することを目標として、地方財政措置の

準備をしているところです。

そのため、各都道府県・指定都市教育委員会などでは、 その趣旨と照らし合わせて、ICT支援員の配置促進に積極的に努め、 GIGA スクール構想の実現、推進を図ることが求められています。

▼学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について https://www.mext.go.jp/b menu/hakusho/nc/mext 00034.html

□ [2]	情報セキュリティ	ィ事故ニュース	~ささいなミス	スが事故を招く~	

- ★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況(2021年9月8日調査時点)
- ☆★ (1) 紛失・置き忘れ 2件(2) 誤操作・誤送信:3件
- ☆★ (3) 誤配付:1件(4) 誤掲示:1件
- ☆★ >> https://school-security.jp/leak/

合計7件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要(都道府県名、公表日、組織区分、 漏えい経路・媒体、個人情報数)は以下の通りです。

(1) 紛失・置き忘れ

鳥取県 2021 年 8 月 31 日 町立保育園 USB メモリ 10 件 富山県 2021 年 9 月 7 日 県立特別支援学校 SD カード 不明

(2) 誤操作・誤送信

佐賀県 2021 年 8 月 20 日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 201 件 長野県 2021 年 8 月 25 日 市立学校 電子メール 不明 神奈川県 2021 年 9 月 2 日 市立小学校 電子メール 1 件

(3) 誤配付

大阪府 2021年9月6日 市立中学校 書類 1件

(4) 誤掲示

愛知県 2021 年 8 月 27 日 県立特別支援学校 ホームページ・Web 137 件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の 内訳と概要を掲載しております。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、 ご確認をお願いいたします。

#### 参考サイト:

佐賀新聞電子版/ニュースサイト「毎日新聞」/産経ニュース/読売新聞オンライン/日テレ NEWS24/中日新聞 Web/山陰中央新報デジタル/Yahoo!ニュース/カナロコ/大阪市ホームページ/チューリップテレビウェブサイト/富山テレビ放送 BBT WEB

□【3】 学校 ICT・セキュリティコラム ~研究を重ねた専門家か	『指南~

◆学校現場から見る「GIGA スクール」の今◆ 神奈川県教職員組合 書記長 島﨑 直人

学校教育においてICT環境の充実を望む多くの声が 登場してから久しい。戦前の学校は「むら」の文化の 発信拠点として、最新の教育条件が整えられていた。 例えば、ピアノであり、図書室、放送室などである。 一般家庭への普及に先だって、「子どもたちのために」という 視点から、教材・教具・環境は充実されていた。 しかし、いつからか、学校は取り残されてしまった。 そして、「黒船」のように GIGA の波が学校に押し寄せてきた。 GIGA スクールの計画が加速した背景には、 新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業でオンライン授業の ニーズがあった。 そして今もそのニーズは継続している。 しかし、実際に導入された学校現場からは、様々な課題が

〈PC 持ち帰りと自治体のセキュリティポリシー〉 学校の備品として導入された PC の利用については、 設置者(各自治体)が定めた「情報セキュリティポリシー」の 対象となる。自治体ごとに内容が異なること、学校での活用を 前提としたものではないことから、家庭に持ち帰り、 オンライン上での多様な教育活用については、 検討と判断が求められる。そのため、実際の活用には想定以上に 時間を要する結果となった。

〈オンライン環境の脆弱さ〉

生じているという声が届いている。

ハードウェア環境は整えられても、インフラ整備は一朝一夕には

整えられない。笑い話のようだが、デジタル教科書を活用しようとしたら、ページをめくるのに 10 秒要した。 モバイルルーターを貸し出したが、ルーターが足りない。 データ使用量の上限設定が低く、音声のみでしか利用できないなど、 課題も山積している。

### 〈オンライン授業のノウハウ蓄積〉

技術的な対応がなされたのち、対面での授業をオンラインに変えるという発想で、オンライン授業が行われた。 当初は教員にオンライン授業をするノウハウがないまま、 技術的には対応できた後、45分や50分の授業を試みた実践があった。 異なる学習環境での授業に子どもたちは戸惑い、一方的な教員の授業が流れる画面相手では集中力も持続しない。 最近ではノウハウが蓄積され、活動や協働的な学びの場面も登場してきている。

〈オンラインだからできる!新たな実践の胎動〉 最近では対面授業の代替という側面から、オンラインだから 可能となった新たな実践が報告されるようになった。 先日、中学生が小学校に出向き、読み聞かせをオンラインで 実施したと聞いた。少人数での対応や読み聞かせの回数も 増加できるだろう。感染症対策としてのオンライン授業から、 真にオンラインで広がる教育実践へとつなげていかなければ、 豊かな学びとはならない。そのための継続した支援と研究が必要である。

## ◆ 執筆者プロフィール ◆

神奈川県教職員組合 書記長 島﨑 直人

1990 年二宮町立小学校教諭として勤務後、 平塚市立小学校に勤務。 退職後、2018 年 4 月より現職。 社会的対話を通して、学校における 教育条件の充実・整備に向け取り組む。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム >> https://school-security.jp/column/

# ……◇◆ 「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◇……

ISEN では、6月25日に「令和2年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」調査報告書を Web に公開しました。

>> https://school-security.jp/leak\_all/

# ● 令和元年度の学校の情報漏えい事故のポイント ●

- ・個人情報漏えい人数は、113,865人。
- ・事故は、年度始めや成績処理の時期・学期末に多く発生。
- ・漏えい経路・媒体は、書類と電子メールが全体の約80%を占める。
- ・「規定違反」を伴う事故は、全体の10%を占める。

教職員向け情報セキュリティ研修や、セキュリティ対策のご検討に お役立てください。この報告書は、教育委員会や学校ご担当者さまに限り、 無償でお使いいただけます(一般企業が利用する場合は有償)。

>> https://school-security.jp/leak all/

# <事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会(ISEN) 〒153-0061 東京都目黒区中目黒 1-8-8 目黒 F2 ビル 1 階(株式会社 JMC 内) https://school-security.jp/

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。 メルマガ登録フォーム:https://fs220.xbit.jp/y592/form2

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。 https://school-security.jp/privacy

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、 下記フォームよりご連絡ください。 https://fs220.xbit.jp/y592/form3